

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
99.6.28 No. 4985

6.24 組対法・盗聴法反対のうねり高まる!

日比谷に8000人結集!怒りのシュプレヒコール轟く



ガイドライン体制との 本格的闘いがはじまった

組対法を廃案へ

六月二四日、日比谷野音は、八千名の労働者・市民でうずめつくされ、「組対法・盗聴法粉碎」の大シュプレヒコールが轟きわたった。

小渕政権は、戦争法案のガイドライン関連法を強行成立させ、いつでも朝鮮・アジア侵略戦争を発動できるように国家総動員体制(ガイドライン体制)づくりのために公明党の屈服を引き出し、通常国会を、なんと八月十三日まで延長し、組対法案、「日の丸・君が代」法案等々の超反動法案をすべて成立させようとしている。

こうした自・自・公による大反動暴挙に「もうがまん出来な

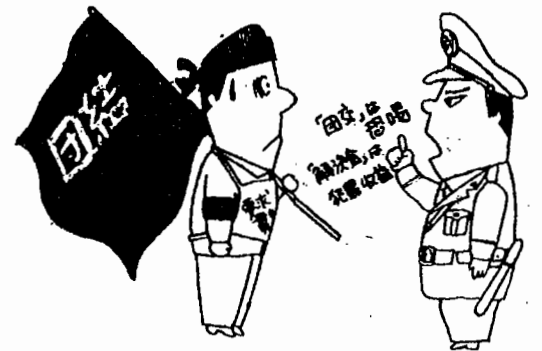
い」「闘いはこれからだ」と超反動国会への怒りは日一日と高まっている。

五月二一日明治公園五万の大結集に続く第二弾が六月二四日の日比谷への大結集と、ものすごい熱気の集会としてかちとられたのである。

重要なことは、連合傘下の労働者をはじめ既成の枠組みをのり越えた新たな力強い労働者の「反乱」が本格的にはじまったということである。

この新たな胎動と動労千葉の闘いが響き合い、大きく結合していく情勢が到来している。

六・二四集会も、動労千葉が労働者の最先頭で闘いぬくという姿の中にも、それは言える。また、国鉄決戦の正念場の中で国会前座り込み闘争を連日貫徹してきた国労闘争団と関東四地本組合員も共に総決起し「ガイドライン粉碎」「組対法粉碎」「国鉄決戦勝利」の決意を、共に固



めてきたところである。
六・二四集会で発せられた「労働組合や各界団体は協力し闘いぬき必ず廃案に追い込もう」というアピールに応え、闘いを強めよう。

闘いの火を重に燃やせ 「日の丸・君が代」法案阻止へ

組対法と一体の攻撃が「日の丸・君が代」法政化攻撃である。これは、反戦平和運動への真向からの挑戦である。

そして、なによりもこの間、百万人署名運動の先頭に立ち「日の丸・君が代」反対の闘いを貫く広島県教組(広教組)への解体攻撃である。広教組は、敵の集中砲火にひるまず、六月二日の定期大会では「私たちは反撃に立ちあがった、広島から全国、アジアに共鳴が起き、仲間間の輪は広がっている。仲間を信頼し、連帯し闘い続けることを最高の倫理とするものである」と、堂々と宣言し、「八・六大集会」にむかって猛然と立ちあがっている。

われわれは、動労千葉の団結を固め、連帯の輪を更に押し広げ労働者の戦争動員を許さない闘う大勢構築にむけ、闘いを強めよう。

反対同盟の訴えに応え 現地集会へ!

戦争拠点づくりを許すな

三里塚闘争は、日本の侵略戦争への道を断ち切る反戦の砦である。

敵がガイドライン戦争を発動するためには、国内の反戦闘争、労働運動をどうしても解体しなければならぬ。今、こうした情勢の中で、反対同盟への攻撃も激しさを増している。

反対同盟は、市東東市氏の熱い思いを我がものとして、七・四集会への参加を訴えている。

北原事務局長は「成田空港を、兵站基地しようとしている暫定滑走路建設は絶対に認められない」と訴えられ、萩原事務局長は「新たな出発の闘いだ」と示し、婦人行動隊長の郡司さんは「初心を貫いて闘う」と宣言している。

反対同盟の訴えに応え、現地集会に参加しよう。

三里塚現地総決起集会
合 4 成田駅改札口
集 7、一〇時三〇分